

項目別用語集

国内政治

□ プライマリーバランス

国や地方自治体などの基礎的な財政収支のこと。一般会計において、歳入総額から国債発行収入を差し引いた金額と、歳出総額から国債費を差し引いた金額のバランスをいう。プライマリーバランスが釣り合っているとは、国債の元本償還や利払いに要する費用を除くすべての歳出について、税収など国債発行に頼らない収入によって賄えることを意味する。

□ ねじれ国会

衆議院と参議院で与党・野党の議席数における優位が逆転した状態で開かれる国会のこと。2007年7月の参議院議員選挙で、当時の与党であった自由民主党が歴史的な大敗を喫した結果生じた現象である。

□ 1票の格差

国会議員の選挙などにおいて、議員1人当たりの有権者数の少ない選挙区では、1票あたりの価値が高くなり、逆に多い選挙区では、1票あたりの価値が低くなる、という格差のこと。各選挙区において有権者数は常に変動するため、一票の格差はなくならないが、人口動態に従って選挙区が改定される国が多い。

□ 18選挙権

2016年7月、参議院選挙は、公職選挙法改正により選挙権年齢が18歳に引き下げられてから、初めての国政選挙が行われた。ちなみに、全国で初は福岡県うきは市で3日に行われた市長選で、うきは市の18歳と19歳にとってはこの日が2度目の投票日となった。注目された投票率だが、18歳が51.17%、

19歳が39.66%という結果だった(有権者全体では54.70%)。一見して低い数字であるが、20代の投票率の低さ(33.37%)を考えれば、初めての選挙権が比較的意識されたともいえる。

□ 地方創生

国内の各地域・地方が、それぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会をかたちづくること。魅力あふれる地方のあり方を築くこと。地方創生は安倍内閣が掲げる主要な政策のキーワードとして用いられている。内閣府特命担当大臣(地方創生担当)も新設された。地方創生の定義やその意味するところについて、政府は特に画定させていない。農業、観光、科学技術イノベーションなどさまざまな起点が地方創生のあり方として想定されている。

□ 改正最低賃金法

2008年7月施行。最低賃金が生活保護の受給水準よりも低いという逆転現象を解消し、「ワーキングプア」とよばれる低所得者の生活を下支えすることを目的とした法律改正である。

□ 改正労働者派遣法

2015年9月施行。企業の派遣労働者受け入れ期間に関し、一部業務を除き最長3年とされていた上限を撤廃することが柱だ。これにより企業は労働者を3年ごとに入れ替えれば、労働組合などからの意見聴取を条件に、何年でも受け入れが可能となる。しかし、派遣労働者からは「3年ごとに雇い止めされるのでは」と強く懸念する声が上がっている。

□ 特定求職者雇用開発助成金

事業主に対して厚生労働省から普及される助成金の一種で、就職困難者や生活困窮

2022年度 実施問題出題例

【1】次の文は、SDGsに関する記述である。(A)～(D)に当てはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。

(A)の目標と169のターゲットから構成されている(B)な開発目標(SDGs)は、2015年9月の国連サミットで採択された「(B)な開発のための(C)アジェンダ」に記載されており、(C)年を期限とする開発目標です。

「(D)」社会の実現を目指し、先進国も含めて国際社会全体で取り組むこととされており、政府組織のみならず社会のあらゆる主体が積極的な役割を果たすことが期待されています。

- | | A | B | C | D |
|----|----|------|------|-----------|
| 1. | 13 | 発展可能 | 2025 | 全ての格差をなくす |
| 2. | 17 | 持続可能 | 2025 | 誰一人取り残さない |
| 3. | 13 | 発展可能 | 2030 | 誰一人取り残さない |
| 4. | 17 | 持続可能 | 2030 | 誰一人取り残さない |
| 5. | 13 | 持続可能 | 2030 | 全ての格差をなくす |

(岡山市)

【2】日本国内の動向を述べたものとして最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 2020年7月1日から、すべての小売店にプラスチック製ストローの有料化が義務づけられた。
- ② 2019年1月1日に新天皇が即位し、新元号が令和になった。
- ③ 2020年1月、約77万4千年前から12万9千年前までの地質年代の名称がチバニアンに正式決定した。
- ④ 2016年の参議院議員選挙で、鳥取県と島根県、徳島県と香川県をそれぞれ一つの選挙区とする合区が初めて導入された。
- ⑤ 2019年10月1日から、消費税が5%から10%に引き上げられた。

(沖縄県)

【3】次のA～Cの文の空欄(①)～(③)にあてはまる最も適切な語句を、以下のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

A 第5期科学技術基本計画では、サイバー空間とフィジカル空間(現実社会)が高度に融合した「超(①)社会」を未来の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を「Society5.0」として、さらに深化させつつ強力に推進していくとされている。

ア 情報化 イ AI ウ スマート エ ビッグデータ

B 小惑星探査機「はやぶさ2」は、平成30年6月に小惑星(②)に到着し、翌年にはサンプル採取を2回行うとともに、令和2年12月には再突入カプセルを地上に投下した。

ア ジュノー イ ベスタ ウ イトカワ エ リュウグウ